



幼稚園だより

令和5年度
9月号

令和5年9月1日
文京区立湯島幼稚園

思いを感じる

園長 前田 宏子

本日から2学期が始まりました。今年の夏も暑い日が続き、外で遊ぶことが難しい日も多かったですね。暑さの中でもいろいろなイベントが以前のように開催されてきました。夏祭りに行かれた方も多いのではないのでしょうか。商店街の一角や地元の学校の校庭から和太鼓の音や盆踊りの音楽が聞こえてくる機会が増えました。私は音を聞いているだけで、子どもの頃の楽しかったお祭りの雰囲気、人の様子、屋台の匂いなどがよみがえってきて、うきうきする気持ちになります。どんなに映像で夏祭りを見ていても、実際の夏祭りの雰囲気は行ってみないと分からないものです。経験するということは体で感じ、視覚、聴覚、嗅覚、味覚などで感じていくことなのでしょう。そのように経験したことは、時間を経ても覚えているものであることを改めて思いました。

8月末にうさぎのふうくんが亡くなりました。5歳児ゆり組がお世話をし、みんなでかわいがっていたうさぎでした。夏休み中でしたが、お別れに来てくれた皆様ありがとうございました。お世話をする中でたくさんのことを教えてくれたふうくん、そばにいただけで心がほっとする時間をくれたふうくんでした。預かり保育の子どもたちは保育中にお別れをしました。亡くなったということの意味を理解することが難しい子もいました。これから始まる2学期の生活の中で、ゲージの中にふうくんがいないことが分かり、もう戻ってこないことが分かり、亡くなったということを少しずつ実感していくのかもしれませんが。お別れは悲しいものです。みんなでふうくんを見ていた時、「お星さまになって、空から見ているんだよ」とAちゃんがつぶやくように言いました。今、ここにいなくなってもそれぞれの人の心の中にふうくんが生き続けるのだと思いました。そして、そのような思いをもっている子どもたちが素敵だと感じます。

2学期は運動会や研究発表会など様々な行事があります。教職員一同、子どもたちと共に楽しい生活をつくっていきえるようにしたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には今後ともご理解ご協力をお願いいたします。



ふうくんへの思いがつまっています。